

和田公民館

和田地区の概要

和田地区は佐倉市の最東端に位置し、12の地区より構成されている。昭和29年の市制発足以前は「和田村」と称し、明治22年から14の村落で構成されていた。面積は市全体の14%に当たる14.4平方キロ、人口は1.2%に当たる2,132人、世帯数は767世帯で、農業が盛んな地域である。

大正頃までの農家の主な産物は米・養蚕であったが、昭和初期になると養蚕が衰え、里芋・落花生・甘藷に変わる。戦後、豚の飼育が盛んになり、昭和27年頃には全国的に有名な養豚地区となる。その後、養豚・酪農・大和芋と専門化され、大型機械の導入も盛んに行われている。

このように専門化された農業地域においても、年々農業従事者は減少し、後継者育成にも大きな問題をなげかけている。地区全域が市街化調整区域のためもあり、人口は減少傾向を示している。また、少子化、核家族化など都市化傾向もみられ、青年層の地域外流出、高齢者層の増加など、純農村として構成されていた社会は変化し続けている。また、地区内を国道51号線と東関東自動車道が通り、佐倉インターチェンジが隣接しているため、和田地区内にも企業の物流基地が進出しており、新たな変化も見られる。

平成11年12月、和田地区の中核施設として和田ふるさと館が開館した。和田出張所、和田コミュニティセンター、和田地域防災集会所、和田農産加工実習所の多くの機能を持つ施設となっている。また平成12年度には、和田公民館分館として歴史民俗資料室の展示工事を実施し、平成13年4月1日に和田ふるさと館歴史民俗資料室が開室した。

管理・運営の部

1. 公民館運営計画

運営方針

佐倉市立公民館運営計画を基本として、常に地域の実態をとらえながら、使いやすく、親しみのある教育施設として住民の自主的交流・集会・学習などの活動を助成し、地域社会教育活動の中心としてその役割をはたすことに努める。

努力目標

- 使いやすく、親しみのある館の環境づくりに努める。
- 地域性を生かした学習内容の充実をはかる。
- 公民館事業と地域団体活動等を効果的・有機的に結びつけていく努力をする。

事業内容

1. 学級講座に関する事業

参加者手作りの学級・講座を開設し、それぞれに興味・教養的学習から専門的学習に至るまで、日常生活に密着した幅の広い学習を展開すると共に、地区住民としての共通の課題を探り、参加者がそれぞれの立場で考え、学習しながら実践に結びつけていくための足がかりとする。

2. 団体育成に関する事業

はたおり保存会・和田小PTA民俗資料収集委員会等の社会教育的団体が自主的、継続的に活動ができるよう資料の提供や、各機関との連絡調整などの援助を行う。各種の住民団体が円滑な活動をすすめられるよう援助・協力をする。

3. 歴史民俗資料室展示事業

平成13年4月1日に和田ふるさと館内に開室した歴史民俗資料室において、和田地区民俗資料（佐倉市指定文化財）を中心として、展示・収蔵・調査研究・教育普及活動、及び伝統技術等の保存継承活動を行い、地区の歴史環境・自然環境と地域の人材を活用した地域づくりの拠点とする。

4. 広報に関する事業

「公民館だより・お知らせ」の発行 年5回発行

5. 図書事業

市立図書館との連携により、図書案内を充実し、リクエスト制度などにより利用増を図る。
（蔵書約1,800冊 貸出し1人10冊 期間2週間）

6. 施設・設備・備品の提供

開館 月～日曜日 午前9時～午後5時 (祝日及び第2第4月曜日は休館)
火・金曜日の夜間(午後10時まで)

2 . 公民館利用状況

年度別利用状況

年度 区分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
利用件数	532	532	535	496	503
利用人数	5,441	5,980	5,975	5,691	6,467
開館日数	320	323	322	320	322

事業の部

事業一覧

領域	事業名	学習内容	対象・人数	期間・回数
家庭教育	子育て教室	楽しい親子遊びを通して、幼児の自立のための親の役割、環境づくりや遊びの意義などについて学習した。	2・3歳児と保護者8組 延べ71名 子ども39名, 大人32名	6月～2月 7回
	楽しく家庭教育講座	子どもがよりよく育つために、家庭の働きや、あり方、方法などを学習した。	主に小学生の保護者 延べ217名	4月～3月 31回
青少年教育	剣道教室	異年齢集団の中で、剣道を通し心身の健全育成と社会人として必要な習慣を身につけるよう指導した。	地区の小学生 延べ510名 男344 女166	5月～2月 33回
	佐倉っ子塾 おもしろ体験教室	軽スポーツ大会(1)・はたおり(1)・凧作り(1)・料理(3)・理科実験(1)・編み物(1)を地域の協力で実施し、子どもの自立と健全育成を図った。	地区の小学生 延べ132名 男40 女92	7月～2月 8回
	夏休みおもしろ体験合宿	子どもの自主性、協調性、社会性を高めるため、保護者と地域の協力により、子どもたちに共同生活体験の機会を提供した。	地区の小学生(4年～6年) 延べ36名	7月30日～31日 1泊2日
成人教育	地域活動実践講座(地域づくり事業)	安心・安全・健康的に暮らせる地域づくりをめざして、今年度は3つの実践的な講座を実施した。	地区の成人 延べ122名	5月～2月 11回
	地域団体対象パソコン講座	会報誌の作成を中心に、地域活動の実践現場で役立つパソコン技術を学習する機会を提供し、地域人材の育成を図った。	地区の成人 延べ60名	4月～3月 12回
	パソコン自由利用	自由にパソコンを利用してもらった。 パソコン2台	一般	通年
	図書貸し出し	公民館図書コーナーの図書提供のほか、市立図書館と連携しリクエスト図書の提供を実施した。	一般	通年
	佐倉学体験講座 ふるさとの味工房	地域の食材をいかして地域間交流を図るとともに、食文化の伝承を図る。【太巻き寿司2回、大和芋1回、和田の新鮮野菜料理1回】	市内の成人 延べ32名	10月～2月 4回

	佐倉学体験講座 蘭学通りの 佐倉学体験	蘭学通りを中心に、開国に尽力した幕末の佐倉藩士の足跡をたどり、佐倉への愛着を深めた。	地区の成人 7名	3月3日
	佐倉学入門講座 楽しく学べる和田 地域塾	地域住民の協力を得ながら、和田地区の歴史・生活・民俗等を学び、実際に体験し、豊かな自然を体感することにより、郷土に対する関心を高め、魅力を再発見していくための講座を実施した。	市内の成人 延べ123名	4月～1月 9回
	佐倉学入門講座 和田の小字を 語る会	和田地区に残されている小字の由来や歴史について佐倉地名研究会の方々を講師に招き講演会を実施した。	一般 24名	10月24日
	企画展 「輝いた佐倉の 教育者たち」	佐倉の先覚者の中から教育関係者を取り上げ、小学生の子どもたちにも分かりやすい企画展を開催。明治から大正にかけての教育関係書も展示した。	一般 入場者65名	3月1日～ 3月14日 14日間
高齢者教育	長命大学交流会	長命大学生と地区の高齢者が集い、心身ともに健康で生き甲斐のある生活を過ごせるよう、和田地区交流バス見学会を実施した。	地区の成人 延べ39名	3月9日
	長命大学手芸教室	手芸を通して親睦交流を深め、生き甲斐づくりを図る。また受講生により、再利用を通じて物を大切にすることを啓発した。	主に60歳以上の成人 延べ63名	5月～3月 9回
広報・展示	公民館だより発行	公民館主催事業や地域行事等の情報提供を行った。(各700部)	和田地区全世帯	年5回発行
	歴史民俗資料室の公開	和田ふるさと館歴史民俗資料室の運営。 市内小学校社会科見学 16校 1222名	一般 入館者254名	通年
団体育成	団体育成事業	地域の社会教育団体、住民団体等が継続的に活動できるよう協力援助した。	和田地区青少年育成住民会議 和田小PTA 民俗資料収集委員会 和田はたおり保存会	通年

1. 家庭教育事業

子育て教室

- 開設趣旨 楽しい親子遊びを通して、幼児の自立のための親の役割、環境づくりや遊びの意義などについて学習する。
- 対象・人数 地区の2～4歳児とその保護者 組 延べ名
延べ71名(男児 15 女児 56 大人 32)
- 期間・回数 平成21年6月～平成22年2月 7回
- 指導者 蓮 淳子
- 学習プログラム

回	月 日(曜)	テ ー マ	会 場
1	6月12日(金)	開講式 お母さん大好き	和田ふるさと館
2	6月26日(金)	お話を聞こう	和田ふるさと館
3	7月10日(金)	作って遊ぼう	和田ふるさと館
4	10月9日(金)	意欲を高める運動遊び	和田公民館
5	10月23日(金)	自然の友だちみーつけた	直弥公園
6	1月15日(金)	造形遊び	和田ふるさと館
7	2月19日(金)	伝承遊び 閉講式	和田ふるさと館

楽しく家庭教育講座

- 開設趣旨 子どもがよりよく育つために、家庭の働きや、あり方、方法などを学習する。
- 対象・人数 主に小学生の保護者 延べ217名(女217)
- 期間・回数 平成21年4月～22年3月 31回(主に水曜日の午前)
- 指導者 職員、インストラクター、地域人材講師
- 内 容 家族の体力増進、食の教育、情報活用能力、地域活動 等
- 「子育て教室」「楽しく家庭教育講座」を終えて

「子育て教室」については、昨年に引き続き、教室を修了した親が講師補助として事業に参画し、地域の中で助け合って家庭教育を学習する環境が出来つつあります。「楽しく家庭教育講座」については、参加者の要望に応え毎週水曜日の午前中に開催。家族の体力増進、食の教育、情報活用能力、地域活動などをテーマとし、公民館ならではの特色を活かした家庭教育学習を行いました。今年度は、和田小創立100周年記念事業への協力として、100周年キャラクターづくり、100周年記念グッズづくりを行いました。子育て中の親が集まり、自ら地域活動に参画し、地域の連帯意識を高めることができました。

2. 青少年教育事業

剣道教室

- 開設趣旨 異年齢集団の中で、剣道を通し心身の健全育成と社会人として必要な習慣を身につける。
- 対象・人数 地区の小学生 延べ510名(男344名、女166名)
- 期間・回数 平成21年5月～21年2月 33回
毎週土曜日 午前10時～12時
- 学習目標 剣道をとおして礼節を学び、たくましい心身をつくる。仲間の大切さを知ると同時に、お互いに切磋琢磨することの重要性を学ぶ。
- 指導者 寺田政一
- 協力者 鈴木富雄・藤崎英樹・江野沢清美・鶴田潤子・伊達幸子

○学習内容 剣道の基本修得・月例試合・対外試合・級位審査会 等

○講座を終えて

今年度は、剣道を通して、子どもの心身の訓練や仲間づくりを図りました。また、親の会も昨年に引き続き、自主稽古を企画するなど活発に活動しました。また、今年度は、7月19日、20日に佐倉西高校のセミナーハウスで一泊二日の剣道合宿を行いました。西高剣道部との合同稽古などをおして高校生との貴重な交流の機会を持つことができました。

佐倉っ子塾おもしろ体験教室

○開設趣旨 和田地区青少年育成住民会議等と和田公民館が共催で行う事業で、地域住民の協力を得ながら、地域素材を活かした体験教室を通じて青少年の自立と健全育成を図る。

○対象・人数

子ども料理教室	和田小学校の1～6年生	延べ56名(男14、女42)
編み物体験	和田小学校の1～6年生	13名(女13)
はたおり体験	和田小学校の3年生～中学生とその保護者	子ども7名(男2、女5)【保護者7名(男1、女6)】 【総計14名(男3、女11)】
理科実験教室	和田小学校の4～6年生	18名(男8、女10)
軽スポーツ大会 (グラウンドゴルフ)	和田地区在住小学生以上	子ども18名(男8、女10)【大人40名(男28、女12)】 【総計58名(男36、女22)】
凧作り体験	和田小学校の1～6年生	計20名(男8、女12) (3年生までは保護者と一緒に)

子ども延べ参加者総数132名(男40、女92)

○期間・回数 平成21年6月～22年2月 8回
午前9時30分～12時(凧作りのみ午前9時～午後3時)

○学習目標 地域住民や地域組織と協働し、子どもたちを地域住民で見守り育む場とする。

○指導者 六崎美知代(体育指導委員) 山本 等(青少年相談員) 和田はたおり保存会 他

○共催 和田地区青少年育成住民会議(全事業共催)
和田地区社会福祉協議会(軽スポーツ大会共催)

○協力者 主任児童委員、青少年相談員、和田子ども会

○学習内容 料理・理科実験・グラウンドゴルフ・凧作りなど

○学習プログラム

月 日	テ ー マ	内 容	指 導 者	会 場
7月18日 (土)	第1回子ども料理教室	(1)お手軽ちらしずし (2)人参とかぼちゃのポタージュ (3)バナナケーキ	六崎 美知代	和田公民館 実習室
7月25日 (土)	はたおり体験	和田ふるさと館所蔵のはたおり機を使って、親子ではたおりを体験。	はたおり保存会	和田ふるさと館 ふるさと伝承室
7月28日 (火)	編み物体験教室	ゆび編みで作るブローチ	長命大学手芸 教室生による 指導	和田公民館 和室
7月31日 (金)	理科実験教室	「エネルギーを大切に」をテーマに、水の実験をとおして環境意識を育む。	中学校の理科 教師	和田公民館 実習室

10月25日 (日)	軽スポーツ大会	和田の子どもからお年寄りまでが、一緒に楽しくグラウンドゴルフを体験した。	和田地区社会福祉協議会 青少年育成住民会議	和田小学校 運動場
12月20日 (日)	凧づくり教室	地域団体が協力し伝統の彦一凧作りに挑戦した。	青少年育成住民会議 青少年相談員 和田子ども会	和田ふるさと館 2Fホール
2月6日 (土)	第2回子ども料理教室	(1)うどん (2)ほうとう風みそ煮込みうどん (3)チョコチップクッキー	六崎 美知代	和田公民館 実習室
2月28日 (土)	第3回子ども料理教室	(1)ヤキソバサンドとツナサンド (2)キャベツのスープ (3)フルーツ白玉	六崎 美知代	和田公民館 実習室

○講座を終えて

すべての事業は、和田地区青少年育成住民会議などの地域団体と公民館が共催で実施しました。

「子ども料理教室」は、子どもたちが男女に関係なく生きるために『食生活』において自立することを目的に実施し、色々な食材を使った献立は、人気があり参加者がとても多かったです。尚、子どもたちは、熱心に学び料理に興味を持ち、作る楽しさ・出来たときの喜びを感じ取ってくれたと思います。料理は、持続することと体験の積み重ねが大切で、その結果、自信にもつながるので今後も継続させていくつもりです。

「はたおり体験」は、和田はたおり保存会の協力を得て、親子で伝統文化を体験する場の提供をすることができました。

「理科実験教室」は、水の実験をとおしてエネルギー資源の大切さを学びました。

「軽スポーツ大会」は、住民会議と和田地区社会福祉協議会と共に実施し、地域の子どもと地域住民が交流し青少年の健全育成を、地域で考える場になっていると思います。

「凧作り」は、住民会議と青少年相談員・和田子ども会の共催で実施し、子どもたちが自分の力で伝統的な彦一凧作りをしました。紙に絵を描き、それを竹ひごにはって、凧に仕上げていきますが、なかなか思うように作ることができず、それをまわりの大人が話しかけながら手伝うなど地域で子どもを育てる機会となっています。

今後も、地域の方々と協働し色々なおもしろ体験を通して青少年の健全育成を地域と共に考えていきたいと思っています。

夏休みおもしろ体験合宿

開設趣旨 子どもの自主性、協調性、社会性を高めるため、保護者と地域の協力により、子どもたちに共同生活体験の機会を提供する。

対象・人数 地区の小学生4年～6年 男8・女10 計18名(延べ36名)

期間・回数 平成21年7月30日～31日 1泊2日【和田公民館内で合宿】

午後1時30分集合 午後0時30分散

指導者 NPOニッポンランナース、六崎美知代 ほか

講座を終えて

昨年度に引き続き、夏休みおもしろ体験合宿を開設。事前に「体験合宿保護者打合せ会」を開催し、「合宿内容の企画について」、「夕食、宿泊、朝食などの際の保護者サポート当番について」の打合せを行いました。

合宿では、身近な生活の中から子どもたちが学習する動機を見出すことができるように、クッキングや理科実験教室なども行いました。また、今年度はNPOニッポンランナースの指導により、「はやく走るコツ」をテーマに走り方の教室を行いました。

3 . 成人教育事業

地域活動実践講座（地域づくり事業）

開設趣旨 「地域活動実践講座」は、安心・安全・健康的に暮らせる地域づくりをめざして、今年度は3つの実践的な講座 全11回を開設。

民俗資料室学習会 7回 延べ43名（女43）
 和田地区防災訓練 1回 48名（男24、女24）
 いきいき創作料理の試食会 3回 延べ31名（女31）

民俗資料室学習会

若い地域住民を対象に民俗資料室内展示物の学習をとおして、地域活動への関心を高め、実践につなげるための講座。

No	期日	曜	時間	内容	講師	対象	参加数
1	5月13日	水	9時30分～14時	民俗資料室内展示物の学習	職員	主にPTA	7
2	5月20日	水	9時30分～14時	民俗資料室内展示物の学習	職員	主にPTA	7
3	5月22日	金	9時30分～14時	民俗資料室内展示物の学習	職員	主にPTA	5
4	5月29日	金	9時30分～14時	民俗資料室内展示物の学習	職員	主にPTA	5
5	6月12日	金	9時30分～14時	民俗資料室内展示物の学習	職員	主にPTA	7
6	6月19日	金	9時30分～14時	民俗資料室内展示物の学習	職員	主にPTA	6
7	7月10日	金	9時30分～14時	民俗資料室内展示物の学習	職員	主にPTA	6

和田地区防災訓練

災害発生時に、落ち着いた行動と助け合いの精神を醸成するための訓練。（和田地区社会福祉協議会共催）

No	期日	曜	時間	内容	講師	対象	参加数
1	1月25日	日	9時30分～11時15分	・避難訓練 ・消火訓練 ・発電機取扱い訓練 ・起震車による地震体験	消防職員 交通防災課職員	一般	48

いきいき創作料理の試食会

創作料理の試食会の開催に向け、企画・運営・実施し、高齢期の食生活と地域活動を考える。

No	期日	曜	時間	内容	講師	対象	参加数
1	1月13日	水	10時～14時	創作料理の試食会の企画・運営	栄養士ほか	一般	6
2	2月3日	水	10時～14時	創作料理の試食会のリハーサル	栄養士ほか	一般	6
3	2月17日	水	10時～14時	創作料理の試食会の実施	栄養士ほか	一般	19

講座を終えて

「民俗資料室学習会」については、若い世代の住民を対象に、民俗資料室内展示物の学習をとおして、地域活動への関心を高め、実践につなげるための講座を行いました。「和田地区防災訓練」では、和田地区社協と共催して避難訓練、消火訓練を行うなど、現代社会の要請に対し、社会教育施設として徐々に対応することができ

るようになりました。「いきいき創作料理の試食会」では、創作料理の試食会の開催に向け、企画・運営・実施、高齢期の食生活と地域活動を考える機会となりました。

地域団体対象パソコン講座

開設趣旨 会報誌の作成を中心に、地域活動の実践現場で役立つパソコン技術を学習する機会を提供し、地域人材の育成を図る。

内容 パソコン編集による会報紙作成にチャレンジする。

対象・人数 地区の成人 延べ60名(女60)

○学習プログラム

No	期 日	曜	時 間	講 師	参加数
1	4月14日	火	19時30分～22時	職 員	5
2	5月26日	火	19時30分～22時	職 員	5
3	6月9日	火	19時30分～22時	職 員	5
4	7月7日	火	19時30分～22時	職 員	5
5	11月10日	火	19時30分～22時	職 員	5
6	11月24日	火	19時30分～22時	職 員	5
7	12月1日	火	19時30分～22時	職 員	5
8	12月8日	火	19時30分～22時	職 員	5
9	2月2日	火	19時30分～22時	職 員	5
10	2月16日	火	19時30分～22時	職 員	5
11	3月2日	火	19時30分～22時	職 員	5
12	3月9日	火	19時30分～22時	職 員	5

講座を終えて

昨年度に引き続き、小学校PTAの広報担当者から会報紙のパソコン編集講座開設の要望があり、「地域団体対象パソコン講座」として実施しました。年間全4号分のPTA会報紙をパソコン編集で作成することができ、地域団体の情報活用能力向上の一助となりました。

佐倉学体験講座・ふるさとの味工房

○開設趣旨 和田地区の特長を活かし、食材を地元の物を使用して食文化の伝承を図る。

○対象・人数 成人 延べ32名(女32)

会場 和田公民館実習室

○期間・回数 平成21年10月～平成22年2月 4回

○学習プログラム

月 日	テ ー マ	内 容	指 導 者	参加数
10月2日 (金)	和田の新鮮野菜 料理講座	(1) 手作りこんにやく (2) 佃煮を使った炊き込みご飯 (3) えびと長いもの椎茸シュウマイ (4) 青菜の中華風スープ	食生活改善推 進委員和田支 部	9
10月30日 (金)	太巻き寿司講座 NO.1	準備から基本の巻き方まで 「基本の花」「梅の花」	伊藤芙美子	10
12月9日 (水)	太巻き寿司講座 NO.2	準備から基本の巻き方まで 「かえで(卵巻き)」、 「赤とんぼ(のり巻き)」	伊藤芙美子	12

2月26日 (金)	大和芋のおいしい食べ方講座	(1)とろろ汁 (2)鶏だんご汁 (3)五目揚げ (4)大和芋とリンゴのサラダ (5)茶巾しぼり (6)大和芋の梅酢漬け	伊藤芙美子	11
--------------	---------------	---	-------	----

講座を終えて

ふるさとの味工房については、和田地区の特長を活かし、食材を地元の物を使用して食文化の伝承を図ることができました。

佐倉学体験講座・蘭学通りの佐倉学体験

開設趣旨 蘭学通りを中心に、開国に尽力した幕末の佐倉藩士の足跡をたどり、佐倉への愛着を深める。
学習プログラム

No	期日	曜	時間	内容	講師	対象	参加数
1	3月3日	水	10時～13時	市立美術館や一里塚などの施設を見学しながら、蘭学通りを散策。	公民館職員 市立美術館学芸員	一般	7

講座を終えて

講座参加者とともに蘭学通りを散策し、好学進取の佐倉の気風にあらためて触れる機会となりました。

佐倉学入門講座・楽しく学べる和田地域塾

開設趣旨 和田地区の歴史や民俗、自然や地理等を学び和田地区に対する知識理解を深め、郷土愛の育成を図る佐倉学を普及推進する。

対象・人数 成人 延べ 123名

期間・回数 平成21年5月～平成22年1月 7回

学習プログラム

月 日	内 容	指 導 者 等
5月14日(木)	大和芋づくり体験	戸村 功氏(地元農家)
5月21日(木)	和田を歩いてみよう	松平喜美代氏(植物研究家)
5月28日(木)	地元作家の指導による陶芸体験	安本幸世氏(陶芸家)
7月12日(日)	地区の民俗	大川一光氏(地元農家)
7月16日(木)	地元作家の指導による陶芸体験	安本幸世氏(陶芸家)
11月19日(木)	大和芋づくり体験	戸村 功氏(地元農家)
1月14日(木)	成木と農業の話	藤井 毅氏(地元農家)

講座を終えて

佐倉学入門講座として本事業を開設しましたが、市内の各地域から参加があって、好評を得ることができました。特に地元農家の協力を得ながら特産物の大和芋づくりをすることができたことは、地場産業への理解・関心を高める効果があったと思います。尚、地元陶芸家による陶芸体験も、かなり人気がありました。また、地元農家の指導による成木の体験は、住民との交流と伝統文化を知るための貴重な機会になったと思います。

和田の小字を語る会

- 開設趣旨 和田地区に残されている小字の由来や歴史について佐倉地名研究会の方々を講師に招き講演会を実施した。
- 対象・人数 一般 24名
- 期間・回数 10月24日(土)
- 会場 和田公民館2階会議室
- 講座を終えて 和田地区の歴史や、今も多く残されている自然についても話が及び、参加者からも質問等が多く出るなど、とても有意義な講演会となった。

特別展「輝いた佐倉の教育者たち」

- 開催趣旨 佐倉の先覚者の中から教育関係者を取り上げ、小学生の子どもたちにも分かりやすい企画展を開催する。また、和田小学校創立100周年記念として、明治から大正にかけての教育関係書も展示する。
- 入場者数 65名(男25、女40)【内、子ども37名】
- 期間 平成22年3月1日(月)～14日(日)14日間
- 会場 和田公民館1階ロビー

4. 高齢者教育事業

長命大学交流会

- 開設趣旨 長命大学生と地区の高齢者が集い、心身ともに健康で生き甲斐のある生活を過ごせるよう、和田地区交流バス見学会を行う。
- 期日 平成22年3月9日
- 内容 両国江戸東京博物館を訪ね、そこで活躍しているボランティアガイドの実際を学び地域における高齢者の役割について考える。
- 対象・人数 和田地区在住の成人 45名
- 講座を終えて 参加者と近い世代のボランティアガイドの方と接する機会は、参加者の方たちにより刺激になったようです。また、なかなか一緒に外出する機会がない方たちが共に遠出することで、連帯感を得ることができました。

長命大学 手芸教室

- 開設趣旨 高齢者が心身ともに健康で生き甲斐のある生活を過ごせるように、手芸を通し、高齢者の親睦と生き甲斐作りを進める。
- 対象・人数 60歳以上の成人 延べ63名
- 期間・回数 平成21年5月～22年3月 毎月2回
(2回のうち1回は自主活動) 9回
- 指導者 佐藤 節子
- 学習内容 リフォームを中心とした編物(文化展に作品展示)
- 講座を終えて

長年にわたる活動で、手芸技術はかなり高度なものとなっています。高齢者どうしの親睦をはかると同時に家庭内での高齢者の役割を考える為にも重要です。受講生が減少しつつあるため、公民館だよりや口コミなどで、随時、呼びかけていきます。

5 . 広報・展示事業

広報事業

公民館だより 公民館主催事業や地域行事等の情報を提供する。
発行 年5回発行(8月、9月、10月、12月、1月)
配布方法 区長を通し各戸配布

展示事業

和田ふるさと館歴史民俗資料室展示事業

事業趣旨

平成13年4月1日、和田ふるさと館内に和田公民館別館として「和田ふるさと館歴史民俗資料室」が開室しました。展示の中心となる農具・民具の実物資料は、昭和45年より和田小学校PTA民俗資料収集委員会が地区内に散在する資料の収集を行い、平成11年に佐倉市への寄贈を受けたものです。歴史民俗資料室は、和田地区の歴史環境・自然環境と地域の人材を活用した地域づくりの拠点、市民の生涯学習の拠点としての機能を持ち、学校教育の支援も行っています。

市内小学校社会科見学については、和田はたおり保存会によるはたおりの実演に加え、今年度から和田小PTAの有志による解説を行いました。

入室状況

入室者数 合計 1,476名 (入室票記入個人 及び 事前申し込み団体)

月別 区分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
個人	人数	16	15	16	11	20	6	33	59	10	24	16	28	254
団体 小学生	件数		5	7	2			2						16
	人数		361	550	117			194						1222
団体 一般	件数													0
	人数													0

6 . 団体育成事業

和田小学校PTA民俗資料収集委員会

昭和45年、和田小学校PTAが校史編纂と民俗資料の収集活動をはじめ、46年11月に収集委員会を設置しました。収集された民俗資料は、和田小学校郷土学習室、和田公民館民俗資料室での公開を経て平成11年10月に佐倉市へ寄贈されました。

現在では民俗資料の収集自体は概ね終了しており、収集委員会では引き続いて、地区住民や公民館と連携し、民俗資料の活用や伝統技術の伝承等の活動を行っています。和田小学校児童に対する活動を積極的に行い、各種事業を通じて子どもと触れ合う時間を多く持つことが出来ました。特に小学校の総合的な学習の時間を利用して、5年生にミニぞうり作りの指導をしました。

又、恒例のふるさと祭りやしめ飾り講習会など、和田の特色を生かした活動を実施しました。公民館では地域の民俗や歴史学習の一環として収集委員会の活動を援助しています。

平成20年度 和田小PTA民俗資料収集委員会活動内容

月 日	活 動 内 容
5月26日(金)	役員改選・事業計画
6月14日(日)	バラッパまんじゅう準備、サルトリイバラ採取と塩漬け作業
10月23日(金)	ふるさと祭り・しめ飾り講習会打ち合わせ
11月15日(日)	和田ふるさと祭り(中止)
12月15日(火)	しめ飾り講習会準備 製作練習
12月23日(火)	しめ飾り講習会 しめ飾りづくりの講習 参加者 22名
3月30日(火)	事業報告・会計報告

和田はたおり保存会

和田小PTA民俗資料収集委員会の活動で収集されたはた織機を、地元の高齢者が中心となって復元し、昭和51年に和田公民館で開講したはたおり講座の受講生によって、和田はたおり保存会が結成されました。公民館では、和田地区の伝統技術の保全と、はたおり機の動態保存の面から援助を行っています。主な活動としては、年間を通じての定期活動や綿の栽培、5月・6月にかけて歴史民俗資料室を訪れた約1200人の小学生に対して、糸づくりやはたおり機の実演を行いました。

また7月には公民館主催の「親子ではたおり体験」に指導者として協力して、はたおりの面白さを参加者に伝えています。

7. 図書事業

趣 旨 読書活動を支援していくと共に、個人学習や集団学習への資料提供を行い、学習の深化を図る。リクエストの受付や他館からの返却受付などの利用者の便を図る。また、和田地区関連資料や佐倉市関連資料を収集し、貸し出すことにより、地域理解を深めるための支援を行う。

蔵書数 1,800冊

月別貸出数・返却数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出数	37	31	0	5	9	2	13	13	0	0	0	0	110
返却数	190	88	52	37	119	57	106	23	26	21	30	48	797